



# つわの

9月定例会  
議会だより



## 平成27年 第6回定例会

- 平成27年度補正予算 2
- 平成26年度津和野町各会計決算 3
- 一般質問 4~7
- 条例・契約・請願・認定 8
- 所管事務調査報告 9
- 賛否表 10
- この人にインタビュー・編集後記 11~12

No.40 (2015)

平成27年10月20日発行  
島根県津和野町議会  
TEL 0856-74-0089  
E-mail gikai@town.tsuwano.lg.jp  
印刷：津和野印刷

津和野町立日原中学校体育祭 (平成27年9月12日)



## 歳出(主なもの)

※千円以下切捨て ▲=減額

## ◎総務費

- ・ファウンディングベース事業委託料 …………… 162万円
- ・新たな地域おこし協力隊2名 委員報酬 …… 192万円
- ・津和野高校支援補助金 …………… 133万円  
津和野高校後援会のバス購入費用
- ・つわの暮らしお試し住宅購入費 …………… 650万円  
物件の借り上げから購入に変更
- ・定住支援対策強化補助金 …………… 1150万円  
空き家情報バンク利用者の増に伴う空き家改修補助金等

## ◎民生費

- ・工事請負費 …………… 946万円  
直地児童館トイレ等改修

## ◎衛生費

- ・保健衛生総務費 …………… ▲3499万円  
簡易水道事業特別会計繰出金

## ◎農林水産業費

- ・林業振興費委託料 …………… 183万円  
美しい森林づくり条例制定にむけた住民意識調査等に  
係る森林整備加速化・林業再生委託料他

## ◎商工費

- ・古民家を活用した日原賑わい創出拠点づくり事業委託料  
…………… 241万円
- ・地域商業活性化支援事業補助金 …………… 1210万円  
小売店等持続化支援事業及び移動販売事業
- ・青野山モデルコース歩道整備工事費 …………… 1620万円  
バイオトイレ設置
- ・津和野町東京事務所管理費 …………… 333万円  
事務所経費増に伴う観光協会への事務委託料
- ・日本遺産センター準備費 …………… 1484万円  
既設空調機の修繕料、「津和野百景図」他の商標登録  
委託料等

## ◎教育費

- ・学校管理費 …………… 404万円  
日原小学校小荷物専用昇降機修繕料
- ・山陰道徳城峠越説明板等修繕料 …………… 60万円
- ・文化財修理工事設計監理業務委託料 …………… 155万円  
多胡家表門番所修理
- ・郷土館費 …………… 99万円  
冊子「津和野藩ものがたり」他購入

## ◎災害復旧費

- ・過年度分公共土木施設災害復旧工事費 …… 1億2994万円  
単独災害復旧工事の追加工事及び設計変更等

9月議会の  
主な補正予算の内容

2億8401万円追加の補正予算案可決

総額93億2534万円

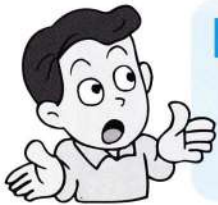


# 平成26年度 津和野町各会計決算

☆9月議会において決算審査特別委員会を設置し、各会計決算を審議し、認定しました。  
本会議でも全会計について認定しました。(賛否表は10ページ)

★**実質公債費率 11.4%**(前年13.2%)と大幅に改善

★**町民一人あたりの借金は、149万9千円**(6万1千円増)



行政用語の豆知識

## 実質公債費率って何??

自治体の収入に対する負債返済の割合。数字が小さいほど健全会計。

※ 千円未満切り捨て

	歳入総額	歳出総額	差引額
一般会計	100億8161万円	99億3672万円	1億4488万円
特別会計	43億1267万円	42億4949万円	6317万円

		収入	支出	備考
		病院事業会計 (税込)	収益的収入	7億4450万円
	資本的収入	3705万円	7036万円	▲3331万円(損益勘定留保資金から補てん)

**基金残高総額 45億8463万4千円**(前年比1億6167万5千円増)

**地方債残高総額 119億2942万3千円**(前年比2億8661万6千円増)

## ●主な審査意見●

- 町税の滞納額は税務課職員の努力と県との連携により減少している。各課担当の使用料などについても税務課との連携を強化して滞納整理に更なる努力を。
- ふるさと納税については返礼品以外は基金として積み立てている(累計3259万円)が寄付者の想いに応えるべく早急に有効な活用を検討すべきである。
- 職員の時間外勤務は、個人差が著しい。災害復旧などやむを得ないが、適正な人事配置、業務配分や、課内の連携等、労務管理の徹底を図るべきである。
- 不用額について各課、3月補正時に提案忘れあり。管理徹底を。
- 津和野町東京事務所について存続していく上で目的の明確化と、効果の立証も必要である。

決算審査特別委員会メンバー 米澤委員長 岡田副委員長 寺戸、御手洗、京村(5名)



**Q 「人口ビジョン」・「総合戦略」の策定状況は**

**12月末の策定を目標に意見交換会を実施**



議員 問 策定に望む基本的考え方は。

町長 「しごとづくり」

との流れ「結婚・出産・子育て支援」「まちづくり」を柱として策定する。

問 進捗状況は。

町長 自然増減及び社会増減の影響等の分析や12地域のまちづくり委員会の人口について推計しながら2060年の目標人口についてシミュレーションをしている。9月下旬から10月中旬にかけて医療福祉、農林業、商工会、観光協会関係者、保育所及び小中学校校保護者等との意見交換会を実施し、12月末を目標として策定したい。

問 策定委員構成及び庁内体制は

町長 産業界・行政機関・教育機関・労働団体・メディア等すべての分野から18名参加してもらい2回の会議を開催した。庁内体制は各課の課長補佐または係長等で構成されるプロジェクトチームと庁

議メンバー（課長級）で構成される創生本部において、協議・検討を進める。

**Q 日原中心市街地グランドデザイン化を**

**当面「賑わいを取り戻す拠点づくり」を検討中**

問 本庁舎を有し、清流高津川沿いに位置する日原中心市街地の抱える課題・問題点を整理し、グランドデザイン化等により希望の持てる対策が必要である。

町長 日原中心市街地の活性化対策は大変重要な問題である。現在「賑わいを取り戻す拠点づくり」として、日原郵便局に隣接した空き家及び同敷地他を活用した空き家改修等により図書館等の公的機能と民間の動きを連動させた施設整備を検討している。今後は本計画を進めながら、長期的にはグランドデザイン策定の必要性を感じている。美しい森林づくり条例の策定と合わせ豊富な森林資源や美しい水辺の環境、食の素材など日原地区の優れた要素を総合的に活用した計画にすべく検討を進める。

○農村文化・景観保全対策

**Q 米の需給改善とブランド米の増産は**

**今後も新規需要米の生産拡大と高品質米の生産に取り組む**



議員 問 農家が望んでいるのは米価の回復と経営の安定である。

町長 今後の対応と展開は。

町長 生産者へ支払われる概算金が引き上げられた。一方で新規需要米は前年に比べ4倍近い作付けとなったが、米価が低水準であることにより変わりにくく、JAと連携し販売努力する。

問 ヘルシー元気米は生産コスト削減のため年々生産面積が減少している。今後の対応は。

町長 JAの販売戦略を基本としながら連携し取り組む。

**Q デマンドバスの効果的運行を**

**実態に応じ変更は可能**

問 デマンドバスは利用者の多くが病院への通院患者であるにもかかわらず、受診日と乖離した実態にある。見直しが必要と考える。

町長 変更を希望する場合は、自治会等を通じて要望をいただき該当路線の現状や他のバスへの影響等を考慮したなかで変更が可能か判断する。地域交通会議の承認を経て、運輸支局への申請を行い、その後、住民への周知期間を経て運行開始となる。

**Q マイナンバー制度の周知と運用は**

**周知・広報を幅広く展開する**

問 本年10月より個人番号を通知するとしているが、制度の周知徹底と運用は。

町長 国は多様なメディアを活用し、町も広報へ掲載する等、制度の周知・広報を幅広く展開する。運用については、平成28年1月以降に行政手続きにおいて利用される。





## Q 住宅リフォーム助成制度の実施を

A 厳しい財政状況だから困難



寺戸昌子 議員

問 この助成制度は、限定的な工事ではなく、多様な

修繕や改修に工事額の一定額を補助するもので、幅広い業種が対象になる。全国628の自治体に広がっている。経済波及効果は補助金の20倍以上との報告もあり、プレミアム商品券の波及効果の6倍と比べるとかなり効果が大きい。町民に住環境の改善。行政に税収増。業者は町民にリフォームの提案がしやすくなる。町外業者と競う時にも役立つ。二者が喜ぶこの助成制度の実施を。

町長 経済効果をはじめとした有効性は理解するが、津和野町では、空き家改修事業補助金の交付をしている。厳しい財政状況からこれ以上の拡充は困難である。

問 厳しい財源状況だからこそ効果的なこの制度を実施して欲しい。  
町長 財政状況が厳しいので難しい。

## Q 関節リウマチで治療を断念する患者に町独自で補助を

A 慎重に検討しなければならぬ

問 関節リウマチは難病指定を受けていないので治療費が大きな負担になっている。有効な認可された治療方法があり、以前より良好な身体機能を保つことができるようになった。病状を悪化させないことは医療費、介護保険給付の抑制にもなる。良好な身体状態が維持できれば、生産活動にも従事してもらえらる。治療を断念する人が町内におられれば、町独自で補助をするべきでは。

町長 関節リウマチには課題が山積しており、早急な国、県の対策が問われる。町内には、関節リウマチ以外にも様々な疾病でお困りの方がいる。現時点で個々の疾病に対して町が補助することは慎重に検討しなければならぬ。



## Q 防犯カメラ台帳に登録されるとどうなる

A 電気料は町が負担



川田 剛 議員

問 防犯カメラ台帳に何件の登録があり、どこにあるのか。

町長 7台ある。防犯連合会からの寄贈により津和野駅前、津和野大橋北詰、扇町の3台を設置。まちづくり委員会により津小前1台、幸町2台、金見町1台の計4台設置。

問 台帳の登録条件は。

町長 管理責任が明確であり、他の電気機器から独立した電気使用の契約がなされていることが条件。台帳に登録されたものの電気料は町が負担する。

問 自治会や団体等に設置の方法などを周知すべき。

町長 周知をしていきたい。

## Q 交通が不便

A 改善を検討

問 町民意識調査において、自家用車以外の交通手段が無いなど、

外出に関する不便さがあげられている。このことについて改善すべきと考えるかがか。

町長 旅客ニーズの把握、関係するバス事業者等民間事業者との連携を行い検討していきたい。

## Q 枕瀬山森林公園のトイレを改善すべき

A 検討したい

問 施設について改善すべきとの声が多くある。特にトイレについてはすぐにでも改善すべきと考える。

町長 竣工から30年以上経過した施設で、利用人数では年々減少している。指摘のとおり施設、特にトイレの状態が利用者の減少の要因のひとつであることも考えられる。外トイレの新築や管理棟シャワー室及びトイレの修繕等、概算で2400万円程度の経費が必要となる見込みであり、今後財政状況を考慮して検討してまいりたい。

【その他の質問】  
CASセンター



## Q 公共施設等総合管理 計画策定の対応は 平成29年3月まで に計画を策定する



板垣敬司議員

問 公共施設等解体撤去用地方債による地域の再生と成長を目的とした計画策定作業は、

少子・高齢化社会を先取りする本町にとって極めて有効な手段と考える。旧日原中学校寄宿舎、青野山荘、伝統文化館、旧畑迫小学校、旧須川小学校校舎の解体、もしくは、新たな住民ニーズに的確に 대응する重要な改革であると認識する。当該地方債の特例措置の期間は、全国的な需要見込みから当分の間となっている。地方創生の計画策定にあわせ早急な対応が急務だと考える。

町長 平成29年3月末までに公共施設等総合管理計画を策定する。公共施設等の現況把握、継続管理を行うにあたり、総務省から示された統一の基準での財務書類の作成、分析・活用をするため固定資産台帳と継続管理体制を今年度末までに構築する。公共施設等を除却する場合に、除却債を財源とすれば計画が必須であるが、この起

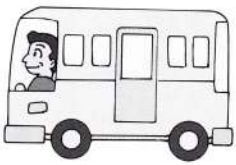
債には後年度交付税措置がない。むしろ、地域活性化事業債（転用）や最適化事業債等での対応が考えられる。

## Q 生活バスの現状は 改善の必要は認識 している

問 車庫の整備はどのようになっているか、デマンドバスを含め青空駐車線の改善を図りたい。各路線の乗車人員と収支比率はどのような実態か問う。

町長 改善の必要性は認識している。道の駅「津和野温泉なごみの里」周辺の町有地を候補地として考えている。

バスの利用実績は、津和野地域が1万9647人、日原地域が8799人で運賃収入は584万6千円、県からの交付金436万3千円併せて1020万9千円運行管理業務委託料が6817万9千円。（収支比率は15%）



## Q 観光施策の進み具合は？ 概ね順調に推移している



丁 泰仁議員

問 歴史的風致維持向上事業の①藩校養老館保存修理

事業 ②駅周辺整備事業 ③「町屋ステイ戎丁」2棟目 それぞれの進捗状況は如何か。

町長 ①に関しては平成27年度中に実施設計完了。平成28年度より解体格納工事及び組立工事。平成29年度中に工事完了予定。現在養老館の資料収集、復元調査中。

②は駅舎内における案内施設トイレの整備、駐車場の整備駅前一体の環境、景観と魅力を向上させる整備であるが現在国県の指導のもと、駅通商店会西町商店会の皆様の意見を伺いながら「町都市再生整備計画」の作成進行中である。

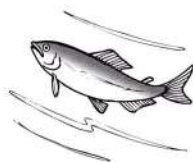
③「町屋ステイ戎丁」は2月にオープン8月迄23件約100人使用。9月以降も予約で営業順調。2棟目も既に工事着手。今年度中に完了。来年度より営業開始予定である。

問 「商工観光振興事業」の①「CAS」冷凍機器導入による特

産品開発、お土産品開発の経過は如何か、又②日原総研「冬虫夏草」開発事業の今年度営業実績は順調に推移しているか如何か。

町長 只今「鮎、ツガニ」等のCAS冷凍食品も増えており、CAS冷凍技術で付加価値を高めた特産品を積極的に販売出来るよう努めている。また正社員の離職による現場のプロジェクト体制の再構築に至急取組んでいく。

②に関しては、現在利益剰余金の損失額が増加。経営が不安定な状況である。主な原因は全国的な養蚕農家の減少による原料調達の高騰、又「津和野式冬虫夏草」の名称をめぐる大口取引業者との取引中止。今後は桑園造成を拡大させ津和野産繭を増産し、良質の原材料を確保するように担当課より提案中である。





**Q** 共存病院・せせらぎの運営状況は  
**A** 病院は増収見込み。せせらぎは収益増加に努める



岡田克也議員  
公立病院への交付税の算定基準の変更に伴い、運営

状況・3階病棟の利用、院内保育所の設置について尋ねる。

**町長** 交付税は段階的に削減となるが、地域包括ケア病床の入院単価が高くなり、年間約3千万円の増収を見込んでいます。せせらぎも在宅強化型老健の基準復活による月に約1百万円の増収を目指す。3階病棟はニーズに応じた生活支援の場所の提言を頂いている。院内保育所は、病院での設置計画を立案される予定と伺っている。

**Q** 永明寺は国の文化財指定による保護対策が必要では  
**A** 国の史跡指定申請を行い、仮設屋根設置の検討を行う

**町長** 永明寺は文化財的価値が高いが、本堂茅葺き屋根等の傷みが激しい。国の文化財指定を受け、早急に修復すべきでは。

**町長** 平成27年度中に基礎調査を行い、平成28年度中に国の史跡指定の申請を行いたい。

**Q** 安野光雅美術館の館外展について、現況を尋ねる  
**A** 記録的入場者数を記録する会場等、収入増である

**町長** 館外展は好評で開催状況・入場者数・収入を尋ねる。とおりである。

年度	回数	来場者数	売上(万円)
23	10	194,666	1,889
24	8	89,066	3,032
25	6	180,177	2,327
26	10	120,376	3,765

**Q** 職員の人事評価制度の整備は  
**A** 早急に整備する

**町長** 地方公務員法が改正され、平成28年4月から施行となる。早急に整備すべきでは。

**町長** 災害復興を優先して休止していたが、条例施行が決まったので、早急に整備する。

**Q** 一級建築士の雇用は  
**A** 1名を技師として採用した



後山幸次議員  
は町営住宅、学校、養老館、古民家の改造建築

新築等の年次計画がある。現状は設計業務を請負った事務所が監理業務を行っている。町では建築件数も多く、監理業務費も億円を超える金額である。財政問題を勘案され、建築工事の専門技術職員を町で雇用され、監理業務を行う考えはないか。

**町長** 町営住宅や各種公共施設の改築等の年次計画、重伝建群保存計画、歴史的風致維持計画の推進を図る上でも「建築」に係る専門職員は必要と認識している。「建築」で募集したが全くなく、再募集で4名応募、3名受験し1名技師として採用。今後、建築関連の専門研修に参加させる。

**Q** 地域提案型助成事業は  
**A** 住民主体のまちづくりが基本と考えている

**町長** 助成事業達成のため、まちづくり委員会は全町12地域で結成され、3年間の補助交付実績額は1億1297万7千円で、3年間の初期投資と評価されている。27年度より3年間の補助金交付見込額は9300万円の計画である。今回10地域委員会交付申請額は2370万5千円、補助交付額は1460万4千円で約910万1千円もの差がある。未来づくり協議会で事業の検討、審査がされるが、事業修正、変更申請はどうされるのか。今回2地域の申請がない。1町内会が脱会されているが、本事業は地域の課題を解決するため財政的、人的支援を講じるとある。全地域住民が参画されない事業であれば平等性に欠け、不合理であり、不条理である。全地域住民が参画してこそ地域提案型助成事業の本意ではないのか。

**町長** 10地域の申請を未来づくり会議で決定した。2地域については来年度提案を頂き、脱会の地域については委員会と連携を図り、対応したい。

【その他の質問】  
町勢要覧について  
庁舎建設について  
本庁舎位置について



## 条例改正

●津和野町個人情報保護条例の一部改正について

マイナンバー制度に伴う改正

●津和野町手数料条例の一部改正について

マイナンバー制度に伴う改正

●津和野町道の駅設置及び管理運営に関する条例の一部改正について

シルクウェイにちはらに電気自動車急速充電設備設置に伴う改正

●津和野町総合交流ターミナル及び温浴施設の設置及び管理に関する条例の一部改正について

津和野温泉なごみの里に電気自動車急速充電設備設置に伴う改正

●津和野町日本遺産センターの設置及び管理に関する条例の制定について

日本遺産センター設置に伴う制定

●津和野町議会会議規則の一部改正について

議員の出席に伴う欠席の届出の改正

「条例案件はすべて可決」

## 契約案件

●小型動力ポンプ積載車売買契約

2台（木部・小川地区）

契約金額 1695万6千円

契約者 株式会社 吉谷

●津和野町デジタル防災行政無線施設（同報系）設備工事

請負契約

契約金額

4億7206万8千円

契約者

株式会社エヌエイチケイアイ

テック中国支社

●鷲原地区下水道管布設工事

請負契約

契約金額 6458万4千円

契約者

有限会社ナガヨシ技建

●星の子ステーション改修工事

請負契約

契約金額 8856万円

契約者

カナツ技建工業株式会社

「契約案件はすべて可決」

## 請願書

●島根原発の稼働・再稼働に反対し再生可能エネルギーの飛躍的な普及を求める請願

請願者  
原発ゼロをめざす島根の会

共同代表 山崎 泰子

紹介議員 寺戸 昌子

不採択（賛成少数）

反対討論

●慎重な県知事が再稼働を認めるならば、知事の判断を尊重したい。

●後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の継続をすることを求める意見書を国に提出することを求める請願

請願者  
島根県社会保障推進協議会

会長 池淵 栄助

紹介議員 寺戸 昌子

反対討論

●国家財政と負担の公平性を考えれば軽減特例の廃止はやむを得ない。

●少子高齢化が進み次世代に付けを回すことになる。

賛成討論

●請願の趣旨は十分理解でき

る。

●社会保障費は充実すべき。

●高齢者にとっての負担増につながる軽減特例の廃止はすべきでない。

## 町道認定

○吉田屋線 池田野地区

延長 175 m

○ヨコ口線 寺田地区

延長 40・8 m

○岩野線 寺田地区

延長 49・9 m

## 町道廃止

○連峯線 中曾野地区

延長 129 m

町道から農道に変更

## 町道変更

○連峯支線を連峯線に変更

延長 127・8 m

○畑向線 中曾野地区

延長

変更前 1613・7 m  
変更後 908・6 m





## 所管事務調査報告

### ★総務経済常任委員会

#### 観光協会と津和野町東京事務所の現況

日時 平成27年8月28日

出席者 小林会長・古橋副会長・

山岡副会長・金子事務局長・

委員(岡田・御手洗・後山・

三浦・丁・草田)

#### 調査意見

津和野町観光協会は、協会の経営的自立を目指すため、特産品販売の事業収入を過度に見込んだことや、災害復旧に向けてのイベントの実施等、負担の増加も赤字決算の要因となったと思われる。今後は、豊富な行政経験のある方が観光協会の副会長に就任されたことから、観光協会の運営に積極的に関わり、堅実かつ効果的な運営を推進すべきである。また、観光協会会長の出された方針のように、観光協会としての基本的な姿勢に立ち返り、堅実な運営と農商工連携を進めて、観光産業の発展に寄与されたい。

津和野町東京事務所は、1年間運営を行い、文京区においても徐々に浸透し、実績が積み上

げられて来たことも知ることができているが、町民を始めとして、まだまだ事業内容等の認知度が低いのが現状である。しかしながら、東京都文京区にも尽力いただき、東京事務所を設置した経緯もあることから、まずは年度目標を立て、目標に対する達成度等の検証を行い、効果的な運営を行うべきである。特に現在は職員が1名に減少し、体制の構築が課題となるため、早急な整備が必要である。



### ★文教民生常任委員会

#### 子ども・子育ての現状と課題

日時 平成27年7月23日

場所 邑南町役場

出席者 亀山和巳副議長・原

修定住促進課長外3名

日時 平成27年8月18日

場所 津和野庁舎

日時 平成27年8月19日

場所 日原保育園子育て支援

センター

委員(米澤・京村・板垣・川田・

寺戸)

#### 調査意見

- ①一貫した子育て支援施策を実施するために、関係各課の連携を密に図るべきである。
- ②核家族や一人親世帯が増加しており、病児・病後児保育、夜間・休日保育、放課後児童クラブ等の要望は多くなっている。ファミリーサポートセンター事業の開設も含めニーズに応え、利用しやすい支援の体制を早急に確立し、待機児童解消や定住に繋げることに努められたい。
- ③女性役場職員に比べ、男性役場職員の育児休暇取得が少ない(H26年度・女性3名、男

性0名)。育児休暇の取得は個人の自由であるが、男性でも育児休暇の取得がしやすい環境を整備することが重要である。

- ④新設される社会福祉法人は周到な計画と目論見により持続可能な体制を構築されたい。
- ⑤「津和野町子ども・子育て支援事業計画」にある子ども・子育て支援サービスニーズ調査では「必要と思うサポート」の上位は「児童手当の拡充、保育料軽減」、「医療機関の整備」、「働きながら子育て出来る労働環境」、「広場や公園等の整備」、「病児・病後児を預けられるサービスの充実」である。これらニーズ調査の結果を踏まえ、「子ども・子育て支援事業計画」に示された目標が達成できるよう努められたい。





提出者	第8回 9月定例会 賛否表											結果	
	後山	川田	米澤	岡田	草田	丁	寺戸	御手洗	三浦	京村	板垣		
町	損害賠償額の決定及びこれに伴う和解	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町個人情報保護条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
	津和野町手数料条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	○	可決
	津和野町道の駅の設置及び管理運営に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町総合ターミナル及び温浴施設の設置及び管理に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	津和野町日本遺産センターの設置及び管理に関する条例の制定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町道吉田屋線の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町道ヨコロ線の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	町道岩野線の路線認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町一般会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町国民健康保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町介護保険特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町簡易水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	平成27年度津和野町農業集落排水事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	小型動力ポンプ積載車の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
	長	平成27年度津和野町デジタル防災行政無線施設(同報系)設備工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度津和野町介護老人保健施設事業特別会計補正予算(第1号)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
平成27年度鷲原地区下水道管布設工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
平成27年度星の子ステーション改修工事請負契約の締結		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
委員会	津和野町議会会議規則の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
町	平成26年度津和野町一般会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	●	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町介護保険特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町奨学基金特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町電気通信事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	平成26年度津和野町診療所特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定	
	長	平成26年度津和野町介護老人保健施設事業特別会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
		平成26年度津和野町病院事業会計歳入歳出決算の認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定
町道連峯線の路線廃止		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
町道連峯支線の路線認定の変更		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
町道畑向線の路線認定の変更	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決		
平成27年度津和野町一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
請願	島根原発の稼働・再稼働に反対し再生可能エネルギーの飛躍的な普及を求める請願	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	不採択	
	後期高齢者医療制度の保険料の軽減特例の継続をすることを求める意見書を国に提出することを求める請願	●	○	●	○	○	○	○	○	○	○	不採択	
<b>第6回 7月臨時会</b>													
町	町営バス用車両の取得	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	津和野町放課後児童クラブ設置及び管理運営に関する条例の一部改正	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成27年度津和野町一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
	平成27年度津和野町簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	
長	<b>第7回 8月臨時会</b>												
平成27年度津和野町城跡災害復旧事業に伴う仮設道路工事請負契約の締結	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決	



この人にインタビュー

富長山八幡宮「地芝居」



長年にわたり地芝居に携わっている  
山下 淳さん

＊9月23日、「地芝居」が富長山八幡宮(中曾野)において奉納されました。大変な盛り上がりでしたが、地芝居の歴史について教えてください。

**山下** 木部の地に素人の地芝居が定着したのは、木部誌に記載されていることから、遠く明治30年頃とされています。当時、吹野地区の若い人たちが浄瑠璃芝居を上演したのが、「地芝居」の始まりとされています。富長山八幡宮は、山下、吹野、中曾野の3大字の持ち回りにより、祭の神事、余興奉納など3年に一度執り行っています。木部地区内で芝居愛好者の方が木部劇団を結成して近隣各地を興行していたと記述されています。

す。

どうしたわけか、昭和24年中曾野が「地芝居」を上演した後の記録がありませんが、私自身は30代前半に「伊予松山騒動」で「絹江」という女中役をした記憶があります。

昭和51年に久しく途絶えていたこの「地芝居」を復活して、秋祭りを賑やかにしようとして若い人たちの総意で話がまとまり、「白波五人男」「大利根月夜」を上演し、女子部は子どもを含め「舞踊」を披露しています。以後今日まで当番年には地芝居、舞踊等を披露しています。

＊今年上演した演目について教えてください。

**山下** 3年前までは、部員が自ら脚色し出演していた「喜劇時代劇」をベテランの部員と上演し大好評でしたが、今年は役者が足らず「森の石松」だけの上演となりました。この演目は平成9年に上演したものの再演です。今年も大好評でした。

＊劇場の舞台がとても雰囲気があるって印象的でした。

**山下** 八幡劇場は昭和22年、境内に常設として建設されて以降、補修改築をしています。劇場の大引き幕は昭

切り取り

以下の質問事項に、あてはまるものを○で囲ってください。

●議会一般質問放映について

見ている       見ていない

●議会放送を見ていない理由は？(見ていないとお答えの方のみ)

時間がない       興味が無い   
その他 (                                  )

●一般質問以外の放送について

必要       必要ない       興味がない

○町議会に対するご意見をお聞かせ下さい。

---



---



---

ご協力ありがとうございました。

和27年に講和条約発効記念として「木部劇団」全盛時代に地区内の各商店や名士の方々の寄贈です。「市川半四郎」「沢村猿雀」などは木部劇団で活躍されていた方々の芸名です。

＊衣装や着付け、化粧も本格的です。

**山下** 衣装は山下歌舞伎保存会所有の衣装をお借りして、化粧は芝居の指導者の方や美容師、着付けに詳しい方にお世話になっていきます。二味線も専門の方によってもらっています。

＊今後の展望を伺います。

**山下** 役者不足が懸念されますが、若い人は芝居好きで大変上手になりました。また、ベテラ

ンの方も一段と芸に磨きがかかり場面を笑いの渦にして、舞台と観客席が一つになる技を会得しています。芝居が終わった時には、次はどんな演目にするかと話が出ます。それほど彼らは芝居好きです。自分を違った方法で表現できる一面は、先人から受け継いだ芝居好きの土壌が育んだ地域特有のものかもしれない。地域の多くの方の協力を頂きながら、これからも伝統芸能「地芝居」を継承していくと期待しています。

(聞き手 川田 剛)





津和野町東京事務所による特産品販売



今回、議会広報編集委員会において、町民の皆さまのご意見を聴取させていただき、議会活動に活用させていただきたいと考えました。  
 下記のアンケートハガキを切り取って、質問事項等にご記入いただき、切手を貼らずに郵便ポストにご投函ください。  
 どうぞ、皆さまのご意見をお聞かせいただきますようお願い申し上げます。

切り取り

郵便はがき

698-8790

料金受取人払

益田郵便局 認  
 承

241

差出有効期間  
 平成28年3月  
 31日まで

鹿足郡津和野町日原二四五番地一

津和野町役場 議会事務局

議会広報編集委員会

行

アンケート調査

編集後記

「命の尊さ」

全国での自殺者は、何万人単位である。島根県では交通事故の死亡原因別ではトップである。国も従業員50人以上の事業所に對し、今年度12月よりストレスチェックの実施を義務付けた。その点で注目されるのが益田圏域(益田市・吉賀町・津和野町)の取り組みである。ゲートキーパーの養成、啓発活動も広げ、成果が表れつつある。  
 私も事故に遭い、生死の境をさまよったこともあったが、唯生きたいの一念であった。私には昭和9年生まれと同窓生の友がい

る。還暦より21年間で、毎月語り合える友がいる。10月には258回目の同窓会で、人生を語り合う友がいる。

若者よ、友をつくり語り合えよう  
 若者よ、雑草の如く強く生きよう  
 年寄りのお節介かも…

後山 幸次

※ゲートキーパー…悩んでいる人に気づき、声をかけ、話を聞いて、必要な支援につなげ、見守る人のことです。

議会広報編集委員

◎岡田 克也 ○川田 剛

後山 幸次 京村まゆみ

草田 吉丸 寺戸 昌子